

布製のマスクを一世帯に2枚配るという安倍晋三首相が専門家会議にも諮詢のうえ決めて新型コロ

が、2日夜放送のBS-1

TBS番組「報道1930」で話題になり、日本

共産党の小池晃書記局長は、「網目の粗い布製マスクは予防の意味はほとんどなく、『税金の使い方が違う』と厳しく批判しました。

小池氏批判

**布マスク2枚より
抗体検査キット**

しんぶん赤旗
4月4日付

ピールしたいのかもしれないが、世間の意識との大きなズレをみんな感じてしまったんだろう」と述べました。

0」で話題になり、日本共産党の小池晃書記局長は、網目の粗い布製マスクは予防の意味はほとんどなく、「税金の使い方が違う」と厳しく批判しました。

小池氏は、外出や営業の自粛にともなって、「イギリスでは賃金の8割、フランスでは100%、ドイツでも100万円以上を一括して出すというが、それに対しても日本は『マスク2枚か』という声が起るのは当然だ」と指摘。世界保健機関（WHO）も「布製マスクはいかなる状況のもとでも推奨できない」と断じていることを示し、1億枚の布マスク代だけでも200億円という税金の無駄遣いぶりを明らかにしました。

アベノマスク

にしました。

専門家からも、「布製マスクはすごく息が吸いやすい。つまり、ザルだということだ。感染予防効果はないと考えていただいたほうがいい」（久住英二・ナビタスクリニック理事長）などの指摘が相次ぎました。

を強調した小池氏は、マスクを2枚ずつ配るなり、こういうものにおきをつかったほうがよつとい」と主張。コメテーターの堤伸輔氏もあまりにタイミング的も遅く、(効果のない)マスクで、家族の数も係なく2枚だという。かも相当なコストがかかるてしまう。とにかくア

間が約200件もメールで届いたと紹介され、同会の松原耕一氏から「もうちょっとといいアドバイスをする人が首相の周りにいないのか」とただされた自民党の武見敬三参院議員は、「私がいれば、こういうことはしません。でした、はい！」と吐き捨てるように言う始末でした。

アベノマスク 国民反発

しんぶん赤旗 4月4日付

歐米大テイア報道

新型コロナウイルスの
感染拡大防止のため、安
倍晋三首相が全世帯に布
マスク2枚を配布すると
表明したことについて、
欧米の大手メディアは
「国民から反発」「いら
つかソーシャルメディ
ア」と批判的に報じてい
ます。

米CNNテレビ（電子
版）は3日、安倍氏の提
案がネット上で「怒りと
嘲笑を招いた」と紹介。

ロイター通信は2日、
安倍氏の発表が「ソーシ
ャルメディアで嘲笑され
た。」

：同氏の危機対応に不
満が高まっていること
を示した」と報じまし
た。

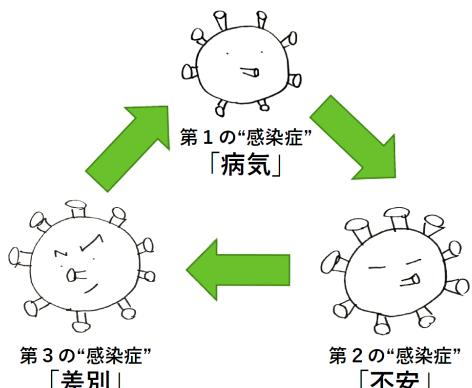
新型コロナウイルス感染症の治療薬として期待される抗インフルエンザ薬「アビガン」（一般名ファビピラビル）の増産に向け、中堅化学メーカーのデンカ（東証一部上場）が5月からアビガンの原料となる「マロン酸ジエチル」の生産を新潟県糸魚川市の工場で始めると発表した。マロン酸ジエチルは合成香料・農薬・医薬品などの原料に使われる有機化合物で、デンカは

治療薬期待「アビガン」 原料の国内生産再開へ

ジエチルの原料となるモノクロロ酢酸も、デンカの関連会社が国内で唯一生産している。デンカは2017年4月までマロン酸ジエチルを生産していた。海外勢との競合激化で撤退したが、生産設備は残していく。国産原料を使ったアビガンの供給体制を国内で築きたいと政府から要請を受け、生産再開を決めた。

布マスク配布 究極の場当たり策

31「の、感染症」は つながつて、いる



ひとりひとりが気を付けないと
つタシはいつやって力をつけていくよ..

コロナは心まで「感染」
日赤 不安・差別まん延防止訴え

「負のスパイラルを断ち切ろう」。新型コロナウイルスの拡大で、過剰な不安や感染者らへの偏見、差別が広がっています。日本赤十字社(東京)はそれらも一種の感染症と位置付け、まん延を防ごうとリーフレットを作成してホームページで公表しています。

作成に関わった日赤災害医療統括監の丸山嘉一医師は「ウイルスは心の中にも感染する。特効薬やワクチンはないので自分で連鎖を断ち切るしかない。立ち止まって考えるため、読んでもらえれば」と呼び掛けました。